

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 境港総合技術高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年11月30日
------	--------------	-----	------------

1 学校目標	
(1) 個々の持つ個性、適性、可能性を最大限に開花させる。 (2) 自主・自律の精神と、他者への思いやりを持った心の育成と創造性豊かな人格を形成する。 (3) 地域の特性を生かして成長し、確かな知識と技術を身につけ未来を切り開く人材を育成する。	
2 重点項目に係る目標	
○専門的知識や技能を身につけ、イノベーションに柔軟に対応でき、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。	
海洋科	・船舶や漁業の魅力を実習や体験をとおして理解させ、船舶・水産関係の就職者数を増加させる。
食品・ビジネス科	・地元の基幹産業である水産業を支える人材を育成し、地元就職者を増加させる。
機械科	・多くの機械実習を通して、ものづくりのすぐれた技術を習得させ、機械・自動車関連企業への就職者を増加させる。
電気電子科	・国家資格である電気工事士の資格取得者を増加させ、資格を活かした電気電子関連企業への就職者を増加させる。
福祉科	・即戦力となる介護福祉士となるため、国家試験の合格を目指すとともに、福祉関連産業への就職者を増加させる。 ・地域のこども福祉を支える人材を育成し、豊かな心を持ち地域貢献できる人材を育成する。
<数値目標>	
【全体】	
(1) 各学科の専門に関連した企業に就職する割合90%以上(令和3年度93.8%、令和2年度86.2%、令和元年度70.6%)	
(2) 各学科の専門に関連した上級学校に進学する割合70%以上(令和3年度51.7%、令和2年度70.5%、令和元年度70.6%)	
(3) 各学科の専門の資格を二つ以上取得する割合90%以上(令和3年度91.7%、令和2年度92.0%、令和元年度84.6%)	
【各科】	
海洋科	・船舶・漁業関係に80%以上就職する。(令和3年度93.8%、令和2年度93.8%、令和元年度70.0%)
食品・ビジネス科	・就職希望者の90%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、

(様式1)

	食品及びビジネス関係へ就職する。(令和3年度96.3%、令和2年度92.3%、令和元年度71.0%)	
機械科	<ul style="list-style-type: none"> 自動車整備士試験3級に90%以上合格(自動車類型)(令和3年度100%、令和2年度100%、令和元年度85.0) 機械・自動車関連企業に90%以上就職する。(令和3年度90.0%、令和2年度100%、令和元年度94.0%) 	
電気電子科	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事の国家試験に70%以上合格(令和3年度87.0%、令和2年度67.9%、令和元年度74.5%)させ、電気電子関連企業に85%以上就職する。(令和3年度94.7%、令和2年度87.0%、令和元年度75.9%) 	
福祉科	<ul style="list-style-type: none"> <介護類型> 介護福祉士国家試験100%合格(令和3年度100%、令和2年度100%、令和元年度100%) <こども福祉類型> 保育検定3級4種目100%合格(令和3年度100%、令和2年度50.0%、令和元年度75.0%) <両類型> 介護職員初任者研修100%(令和3年度100%、令和2年度100%、令和元年度97.4%)、福祉ヘルプメイト80%以上(令和3年度5.5%、令和2年度100%、令和元年度86.2%)の資格取得に取り組み、福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。(令和3年度94.4%、令和2年度70.0%、令和元年度55.0%) 	
3 事業計画(事業名、事業概要)		
【高等学校課事業】		
社会人講師活用事業	全科	・各専門家を招聘し、講義、技術指導を実施。
キャリア発達支援事業 (介護職員初任者研修) 社会人講師活用事業	福祉科	・介護類型3年の基礎知識(介護過程の目的・意識・展開及びチームアプローチ)に係る講義、技術指導等を実施。
キャリア発達支援事業 (介護福祉士養成研修) 社会人講師活用事業	福祉科	・介護福祉士養成のための医療的ケア授業の実施、介護技術向上のための研修、介護実習報告会への指導助言、介護福祉士のキャリアアップにかかわる講演等を実施。
【独自事業】		
地域とつながる教育	海洋科 食品・ビジネス科	<ul style="list-style-type: none"> スーパー農林水産業士制度を活用し、沖合漁業体験、沿岸漁業体験、養殖漁業体験を実施。 地元水産物をより美味しく食べる方法、地元水産業及び販売戦略を学ぶ、地産地消で食品を科学し6次産業化を学ぶ等の事業を実施。

(様式1)

	機械科 福祉科	<ul style="list-style-type: none"> ・マイコンカーや相撲ロボットの設計・製作を通してものづくりに対する技術力や意欲の向上を図る。 ・なかよしプロジェクトをとおり、福祉の学習で学んだことを地元に戻元し、様々な世代・立場の方々とのふれあい、コミュニケーション能力を育成する。
学校間連携	機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉工学の研究を推進し技術の向上を図る（特別支援学校児童・生徒のニーズに合致した作品を制作）
国際交流・国際理解	海洋科	<ul style="list-style-type: none"> ・「若鳥丸」による長期航海を通して、オーストラリアの現地高校生と交流し、広い視野をもって異文化を理解し、異なる習慣や文化を持った人々と共に生きていくための資質や能力を育成する。
スマート教育の推進	福祉科 機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボットを活用したスマート介護の理解を図る。 ・画像処理ライントレースロボットの設計・作成をとおして「ものづくり」のプロセスを学び、興味・関心・意欲の高揚に繋げるとともに学習内容の深化を図る。
自己実現のための職業観・勤労観の育成	全科	<ul style="list-style-type: none"> ・地元事業所でインターンシップを実施し、職業観・勤労観を育成するとともに、地元企業に対する理解を深める。
即戦力として活躍できる能力の育成	福祉科	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護福祉士」国家試験合格に向けた取組として、筆記試験対策学習の強化を図る。また、介護技術コンテストに向けての取組を進める中で、介護についての専門性の深化を図る。
先端技術の学習	機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・旋盤加工技術を現場の匠・プロから学び、授業では学べない実践的な技術・技能を習得する。

※枚数任意